

各位

会社名 株式会社マネーパートナーズグループ  
 代表者名 代表取締役社長 福島 秀治  
 (コード番号：8732 東証プライム市場)  
 問合せ先 取締役CFO兼経営管理部長兼人事部長  
 宇留野 真澄  
 (TEL. 03-4540-3804)

## 2023年9月次 月次概況（速報）のお知らせ

2023年9月次の当社グループの月次概況（連結ベース）を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

## 記

年月	2023年3月期											
	2022年									2023年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位：百万円)	457	432	500	420	493	468	499	464	575	469	467	571
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	130,806	139,280	141,401	113,223	119,648	128,574	113,350	127,232	107,703	105,841	85,507	111,183
外国為替取引口座数 (単位：口座)	348,893	349,810	350,630	351,580	352,358	353,153	354,034	354,921	355,911	357,388	358,445	359,637
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	56,841	56,680	57,597	57,397	58,239	58,842	59,781	58,087	53,578	54,003	54,041	51,650
一般顧客	55,261	55,126	55,939	55,862	56,679	57,382	58,476	56,055	52,006	52,417	52,319	49,931
金融法人 (BtoB)	1,579	1,553	1,658	1,534	1,559	1,459	1,305	2,031	1,572	1,586	1,721	1,718
マネバカード口座数 (単位：口座)	158,807	158,600	158,387	158,213	158,026	157,844	157,701	157,517	157,440	155,557	155,331	154,837

年月	2024年3月期											
	2023年									2024年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位：百万円)	503	502	431	395	460	449						
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	72,285	85,026	102,447	105,809	95,174	78,390						
外国為替取引口座数 (単位：口座)	360,441	361,481	362,428	363,570	364,294	364,914						
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	52,386	52,333	49,506	48,976	48,796	49,372						
一般顧客	50,017	50,108	47,361	46,860	46,668	47,166						
金融法人 (BtoB)	2,368	2,224	2,144	2,116	2,127	2,206						
マネバカード口座数 (単位：口座)	154,562	154,386	154,304	154,276	154,275	154,273						

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っていません。  
 2. 外国為替取引口座数、マネバカード口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。  
 3. 2011年8月よりCFD-Metals取引（差金決済取引）の取扱いを開始しており、CFD-Metals取引における預り証拠金、取引高（原取引単位を米ドルに換算）及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。  
 4. 外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの取引によるものとBtoB取引先である金融法人からの取引によるものを区分して表示しております。  
 5. 2022年3月より、暗号資産CFD取引（差金決済取引）における預り証拠金及び取引高（売買代金を米ドルに換算）はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」に含めて表示しております。

## < 9月次の概況 >

9月の外国為替相場は、米ドル/円については、1ドル=145円台半ばで取引が始まると、同日に発表された米8月雇用統計で、失業率の悪化や平均時給の伸びが市場予想を下回ったことから米ドルは下落し一時144円台半ばの月中安値を付けました。その後は米雇用統計の発表を受けて低下していた米長期金利が上昇に転じたことや、米8月ISM製造業景況指数が市場予想を上回ったことから、146円台前半まで値を戻して初日を終わりました。以降は米長期金利の上昇や6日発表の米8月ISM非製造業景況指数の堅調な結果を受け米ドル買いの動きが続き、8日には147円台後半まで上昇しました。週明け11日には植田日銀総裁がマイナス金利解除の可能性に言及したことが伝わると一時145円台後半まで反落しましたが、米国経済指標の良好な結果や米長期金利の上昇による日米金利差の拡大を背景として米ドル買いの動きが継続、27日には2022年10月以来の約11カ月ぶりの高値となる一時149円台後半（月中高値）まで上昇し、149円台半ばで月末を迎えました。

米ドル/円以外の主要な取扱通貨である欧州・オセアニア通貨については、各通貨とも円に対してはまちまちの動きとなった一方、ドルに対しては下落基調で推移しました。

外国為替相場の変動率は、米ドル/円は当月の1日の平均値幅が0.850円（前月は1.104円）に縮小したほか、ユーロ/円をはじめ多くの通貨ペアにおいて前月より縮小したことから、全体として前月を下回りました。

このような状況の中、パートナーズFXnanoでは10月2日より「米ドル/円」、「ユーロ/円」、「豪ドル/円」、「ポンド/円」、「メキシコペソ/円」の5通貨ペアにて、9時から27時まで当社所定の注文数量までスプレッド0.0銭（売買同値）の提示を行っております。さらに、パートナーズFXnanoの「米ドル/円」のお取引において、スプレッド「0.0銭（売買同値）」での1回あたりの注文数量を1万通貨から5万通貨まで大幅拡大するキャンペーンを継続しております。

また、ゴールデンマネパタイム（17時から27時まで）におけるスプレッド縮小の取組みも継続して実施しております。「米ドル/円」、「豪ドル/円」をはじめとする15通貨ペア以上で、パートナーズFX・パートナーズFXnanoともに業界最狭水準スプレッドの提示を続行しております。その他にも、取引数量に応じたデジタルギフトキャンペーンをはじめ、主要通貨であるユーロ・ポンド・豪ドルの対象通貨ペアでの新規取引数量に応じた最大200万円のキャッシュバックキャンペーン等、様々なキャンペーンを実施しております。

これらの結果、外国為替取引高は、前月比18%減少の783億通貨単位となりました。営業収益はトレーディング損益が減少した一方、システム関連売上高が増加し、前月比2%減少の449百万円となりました。外国為替取引預り証拠金は一般顧客分、金融法人分がそれぞれ増加し、全体では前月比576百万円増加の49,372百万円となりました。

配当に関しては、1株当たり6.00円とする2024年3月期の中間配当予想を2023年9月15日に公表しております。当社は2023年3月15日開催の取締役会において、配当性向の目途を従前の親会社株主に帰属する当期純利益の30%から50%へと引き上げる決定を行っており、今回の配当予想はかかる引き上げ後の配当性向の目途に基づいております。なお、中間配当金の正式決定は、本年10月下旬に開催される取締役会において行う予定であります。

当社は、今般の東証の規則改正における2025年3月末での経過措置の終了と2023年9月29日を期限とするスタンダード市場への再選択の機会を踏まえ慎重な議論を尽くした結果、9月15日開催の取締役会においてスタンダード市場への選択申請を決議し、その申請書を東証へ提出しております。スタンダード市場への移行日は2023年10月20日となっており、この日以降当社株式の取引はスタンダード市場に移行し、同市場で取引が継続されることとなります。

かかる選択申請にかかわらず、当社はプライム市場の上場維持基準の適合に向けた計画に掲げた数値目標を据え置くこととし、その達成に向けた各種の取組みにつき適時適切に見直しながら継続的に実行していくことで、将来的にはプライム市場の新規上場基準をも充足する企業へと成長すべく、一層の企業価値の向上に努めてまいります。

以 上